

令和4年(2022年)3月25日

令和3年度第1回長野県公共交通活性化協議会
上伊那地域別部会の結果について

○質問 資料2 (P8) 検討のプロセスについて

1 STEP1 サポート事業の選定路線について、今後のプロセス (STEP2 以降) に進んだ際の県協議会や地域別部会と既存の市町村協議会等の役割分担や関係、県交通計画と市町村交通計画の関係、プロセスの中で提案される改善策が運行経費に影響する場合の費用負担の考え方についてご教示いただきたい。(伊那市)

→回答 今後のプロセスについて、県協議会において統一的な指標による広域路線の評価を実施し、地域別部会の場においては、当該評価やOD調査の結果等を基に具体的な路線の見直し・改善策等の検討を進め、実施可能な取組があれば県計画の実施事業として位置付ける予定です。なお、各市町村ですでに実施している路線見直しの取組があれば、原則そちらを優先していただいて構いません。

各市町村の協議会においては、必要に応じて当該路線の改善策等に対する意見聴取の実施や、改善策を踏まえた市町村計画の見直しを検討いただくことを想定しております。

また、運行経費に影響が出る場合の費用負担の考え方については、今後県協議会において整理の上、地域別部会において関係者間で協議することを想定しております。(県交通政策課)

○質問 市町村域を超えて利用可能な新たな公共交通(鉄道や一般タクシー以外)について、住民から要望をいただくことはあるが、単独自治体はもとより隣接自治体同士で連携したとしても、これを実現して維持していくことは簡単ではないと考える。

今回のプロセスでは、こうした新規路線の運行や広域的な移動支援策の創設なども検討、提案されるのか。その場合の事業主体、費用負担、財源などはどのような想定か。(伊那市)

→回答 今回県協議会において実施しているOD調査の結果や各地域の移動実態、ニーズを踏まえ、新たな路線の運行等を検討することも想定しております。また、その場合の事業主体、費用負担、財源等は地域別部会の場において協議することを想定しております。(県交通政策課)

※上記質問に対する回答は、いずれも令和4年3月時点の想定です。今後、県協議会及び地域別部会等での議論を踏まえ、進め方を検討してまいります。

○意見 持続可能で最適な地域公共交通システムの構築については、地元の各市町村と連携して取り組んでいるところであるが、説明資料にも記載していただいたとおり、県及び協議会の立場でも連携して支援いただくことを期待するとともに、弊社としても引き続き取り組んでまいりたい。(伊那バス株式会社)

○意見 沿線旅客の減少により、路線維持が非常に難しい状況にある。官民連携により持続可能で最適な公共交通システムの構築を期待するとともに、それに向けた取組みに努めてまいりたい。(ジェイアールバス関東株式会社中央道支店)